

各市町村における待機児童発生理由及び解消に向けた取組

[資料3]

市町村	待機児童数		待機児童が発生している理由	待機児童解消に向けた取組
	H29.4.1	H30.4.1 (暫定)		
鹿児島市	252	158	<ul style="list-style-type: none"> ○ 入所申込児童数の増加も続いており子どもを預けて就労したいと希望する保護者の保育需要が高い状況が続いている。 ○ 保育士不足により入所者数が定員に満たない状況がある。 ○ 29年度に保育所等を整備した谷山北部地区については、待機（保留）児童が大幅に減少し、一定の効果が見られた一方、同様に整備を行った鴨池・谷山地区及び28年度整備した松元地区では入所率の減少が見られ、待機（保留）児童が発生するなど、地域偏在がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育所等の整備による定員増や保育士・保育所支援センターによる潜在保育士の掘り起こしを進めるなどの保育士確保を進めるなど、ソフト・ハードの両面から施策を進める。 ○ 29年度は、保育所の新設、分園の設置、増築、幼稚園から幼保連携型認定こども園への移行により2号176人、3号174人を増やした。 ○ 30年度は、保育所の新設により2号220人、3号210人を増やすとともに、保育所から幼保連携型認定こども園への移行に併せ、2号53人、3号37人を増やす。
出水市	41	7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 29年度に行われた認定こども園及び小規模保育所（新設）の施設整備により待機児童の解消が図られた地区もあったが、各年齢ごとの受入枠と入所希望が合致せず、特定の年齢層（1歳児）に待機児童が発生している地区が依然としてある。 ○ 申込数は横ばいだが、3歳未満児のニーズが増加しており、各施設の受入枠ごとの供給量との乖離が生じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既存施設における3歳未満児の定員増を伴う施設整備計画があり、また事業所内保育施設への認可支援等の取組み、企業主導型保育事業を検討中の事業者への支援などを行う。 ○ 29年度は、既存施設の建替えにより2号40人、3号32人、小規模保育事業所の開所により3号19人を増やした。 ○ 30年度は、保育所から認定こども園への移行により定員増予定。
薩摩川内市	7	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 共働き家庭（母親の社会進出）の増加 ○ 核家族化の進行や祖父母の就労 ○ ひとり親家庭の増加 ○ 保育士不足により、入所者数が定員に満たない施設がある。 ○ 入所申込児童数の増加が続いており子どもを預けて就労したいと希望する保護者の保育需要が高い状況が続いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育施設の整備拡充を図る（定員、施設数の増加） ○ 29年度は、保育所の新設、増築、保育所から幼保連携型認定こども園への移行により、2・3号を5人増やした。 ○ 30年度は、保育所から幼保連携型認定こども園により2・3号10人を増やす予定。 ○ 保育士確保のため、以前保育士をしていた方へ職場復帰への取り組みを周知している。

市町村	待機児童数		待機児童が発生している理由	待機児童解消に向けた取組
	H29.4.1	H30.4.1 (暫定)		
奄美市	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成30年度については、施設全体で見れば、余裕があったが、3歳児のニーズが各施設の年齢毎の供給量を超えたため、待機児童が発生した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 待機児童が発生している名瀬地区においては、平成30年度から公立幼稚園の3年保育(3歳児からの入園)及び預かり保育を実施しており、課題となっていた地域型保育事業の卒園児の受け皿が確保できた。 ○ 今後、公立幼稚園の認定こども園への移行等に取り組む。 ○ 定員に余裕のある幼稚園の3年保育及び預かり保育の活用等が進めば、来年度には解消できるのではないかと考えている。
始良市	39	62	<ul style="list-style-type: none"> ○ イオン開業に伴う就業場所・求人の増加。 ○ 総人口及び就学前児童数が増加しており、また、女性の就業率の上昇等もあって、申込者数が増加している。 ○ 保育士不足により、入所者数が定員に満たない施設がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 庁舎内の関係部署と待機児童解消のための対策会議を実施し、今後の人口や事業所の増減等も踏まえて今後の保育ニーズと施設整備等も含めた受け皿確保について、検討している。 ○ 既存施設に対し、事業説明会等において、始良市内の保育の現状等を説明した上で、定員増や弾力的運用等を依頼し、待機児童解消対策への協力を求めている。 ○ 市の企業担当者と連携し、企業主導型保育所開設を検討している事業所への相談対応や相互協力に努める。 ○ 幼稚園の認定こども園への移行を促進する。
天城町	0	11	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成25年度から実質保育料無償化を実施したこともあり、求職活動を継続したり、育児休業からの復職を早めるなど、子どもを預けて就労したいと希望する保護者が増加し、また、就学前児童数も増加するなど、保育ニーズの増加が続いていたところ、今年度になって、既存施設の定員内に収まらなくなった。(申込児童数H25:186人、H30:234人) ○ 保育士不足により、既存施設の定員増が困難な状況。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育士の確保により、受け入れ園児の増員を図るとともに、保育施設の整備拡充を図る。 ○ 保育士確保のため、町の広報等により保育士を募集している。
県計	354	244		

※H29の県計は、徳之島町12人含む